

2019年度 TJUP 学園祭お訪ね隊 参加レポート

No.	参加日：11月 2日（土）	訪ね先：日本工業大学（若杉祭）
参加メンバー： 東京電機大学		
1. 参加した学園祭の感想（400字程度）※TJUP HP に体験談として一般公開します。		
<p>&lt;メモ&gt;巡った模擬店・企画、TJUP の取組み（スタンプラリー・TJUPgram）などを含め感想をご記入ください。</p> <p>日本工業大学は、宮代町の住宅街に隣接した場所にあり東武スカイツリー線東武動物公園からバスも出ている。広大なキャンパスには、「日本工業大学・工業技術博物館」展示コーナーなどもあり歴史を感じさせる一方で、最近建築された新しい棟が整然と配置されていて学びに適した環境であると感じた。工業技術博物館には、SL が動態保存されていて、学園祭中には実際に学内の線路を走るということで、朝からボイラーの加熱が始まっていた。工業技術博物館には 2～3 名の専門職の方がいて、SL の管理もされているようであるが、そのほかに学生有志も日頃からメンテナンスをてっだっているということ、メンテナンスに必要なボイラー技師の免許も取得しているそうである。2 日の取材時には 3 名の学生と OB が手伝っていた。</p> <p>お訪ね隊は、2 日の開会前にお伺いし、成田学長から大学の近況、学園祭の様子をお聞きした。学園祭には、近隣の方が大勢来るとのことで、今年も 3 日のコンサートに合わせて来場者が増えるのではないかとということであった。また、2 日は午後からホームカミングデーを開催するとのことで、開会のころから OB らしき人がかなり集まっていた。</p> <p>学園祭は、11 時にメインステージにおいてオープニングセレモニーにより始まった。オープニングから住民の方が結構いらっしゃり、仮装パレードの学生さんもあつまって賑やかであった。今年のテーマは、「志」で、成田学長がオープニングの挨拶で、「AI の時代と言われても、何かを心に決め目的とし実行していこうとすることは、人間にしかできないことだ」というメッセージを送っていらっしゃったが、実学に根ざした意味の深いメッセージだなと思った。オープニングセレモニーの後、ブラスバンドの演奏列とともに仮装行列が構内を巡回した。学園祭の展示は、正面ロータリーに面しコの字型に配置する、1, 2, 3 号館の 1 階から 3 階において行われていて、クラブ活動、研究室の展示があった。いくつかのサークルで SDGs を取り上げていたのが印象的で、学園祭パンフとともに SDGs のシールも配布されていたのが印象的であった。SDGs を取り上げていたサークルの学生にインタビューしたところ、「貧困」について興味があり、SDGs の観点から意見を述べてくれた。理工系の学生が積極的に SDGs に興味を持つことは重要なことと思った。</p> <p>自作ロボットや、プロジェクションマッピングなど、工科系大学に特徴的な展示も多かった。子供達にバトル型で遊ばせるロボットを展示していた学生さんは、ロボットのすべての部品を 3D プリンタで作成したのだと話してくれた。また、特撮サークルでは、NIT マン（日工大のヒーローキャラクタ）のショーを担当しているのだと語ってくれた。学園祭の中で、ヒーローものは子供受けがするらしく朝から家族連れが展示室で遊んでいた。</p> <p>受付の 1 号館を抜けて中庭に出ると、メインステージとの間が模擬店領域である。成田学長も褒めていた中国留学生達の小籠包と胡麻団子は、まさしく逸品であった。お昼頃には列ができ盛況なようすであった。</p>		

